

八学大短大部 幼保学科棟改修

ハ
戸

八戸学院大学短期大学部（杉山幸子学長）は、幼児保育学科棟を改修して新たに多目的ホールやピアノレッスン室などを整備した。多目的ホールは学生の授業やサークル活動、系列の幼稚園児の学びの場、地域活動など、幅広い用途での活用が期待されている。

改修工事は昨年6月から4月ごろまで、同学科旧校舎の解体と並行して進めてきた。多目的ホールは二つの教室と廊下だった場所を一室にし、350平方メートルのスペースを確保。冷暖房を完備し、木目調

多目的ホール 明るく広々

のクッションフロアと柔らかな色の壁紙が室内を明るい雰囲気になっている。

このほか美術室を別の場所に移転整備し、旧美術室には防音構造のピアノレッスン室6室を新設。既存のレッスン室と合わせて26室を増えた。さらに1教室の内装と机、いす類を一新した。学びの環境が充実し、学生たちに好評という。

同短大部の加藤康子学長補佐・幼児保育学科教授は「利用する側の要望を取り入れた設備が整い、使いやすくなった。短大生、園児の学びの場として大いに活用したい」と話した。

（千葉真由美）



幼児保育学科棟に新設された多目的ホールで活動する八戸学院第二しののめ幼稚園の園児ら